

私の探鳥地（29）（野鳥だより 99号 1995年3月）

岩見沢公園・市民の森

若林 信男

私が、10月～5月まで一番多くウォッチングへ出掛ける場所は、岩見沢公園です。あまり場所は知られていないが、ゆっくり歩いて約1時間の道程である。（往復約1km）。冬期間は、除雪がされているので長靴でも歩くスキーでも良く（岩見沢市民と近郊市町村の人達に歩くスキーコースとして知られている）、冬でも気軽に出掛けられる場所です。大きな駐車場があり、暖房のきいたログハウスの無料休憩所がある（昼食に便利）。トイレは、すぐ隣の緑のセンター内を利用。午前中なら、多くのカラ類が迎えてくれるだろう。また、カラ類に交じってキクイタダ手も迎えてくれるでしょう。岩見沢公園で観察されている種類は、87種類で一種類ごとの羽数は多くはないが、ゆっくり、じっくり、ウォッチングが出来る。この時期観察出来る種類としては、常連のハシブトガラ・シジュウカラ・ゴジュウカラ・ヤマガラ・シマエナガ・キツツキ全種類・キバシリ・ハイタカ・オオタカ・オオワシ・オジロワシと珍しい種類はいないが、ゆっくり落ち着いて、ウォッチングを楽しめる場所です。また、チャンスに恵まれると、クマゲラ（特に♀）を観察できるのと、クマタカ（1994年2月・3月）を観察できるかもしれない。また、岩見沢公園では、キクイタダキが目の前で多く観察できるので天候の良い日には、キクイタダキだけで盛り上がることだろう。



いわみざわ公園付近の地図

（カラ類・キツツキ類の他に観察できる仲間たち）ウソ・キレンジャク・ヒレンジャク・アトリ・イスカ・ギンザンマシコ・ベニヒワ・マヒワ・ハギマシコ・エゾライチョウ・コウライキジ・エゾフクロウ等その他大勢の役者たち。

注意

岩見沢公園での徒歩でのバードウォッチングは、冬期間は往復するだけの一本道です。春

から秋にかけては、山の斜面を利用した自然観察路があります。冬期間、バスの便が少なく、午前中一便と交通が非常に不便です。良く調べて来てください。自家用車の方が便利かと思
います。